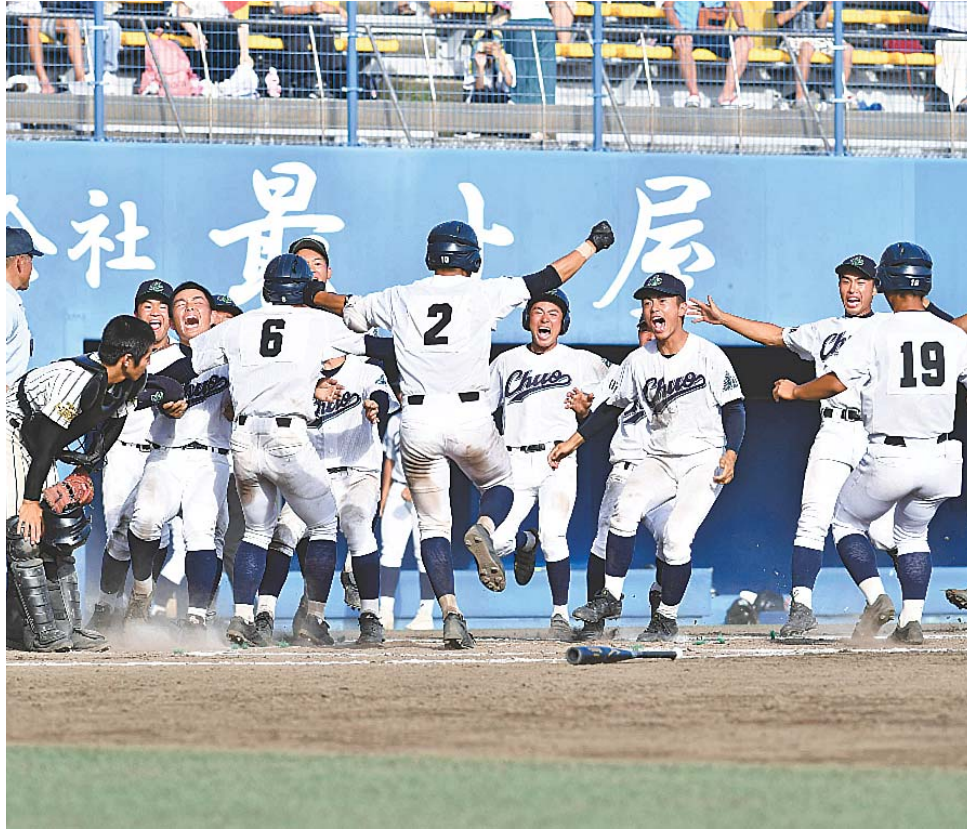


中央45年ぶりV



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2019年



サヨナラ勝ちで優勝を決め、ホームベース付近に集まって喜ぶ秋田中央ナイン=こまちスタジアム

激闘11回、明桜下す

号外

購読申し込み
0120-13-1231
電子版
www.sakigake.jp
モバイル
m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、「秋田魁新報」電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。

第101回全国高校野球選手権秋田大会(県高野連など主催)最終日は21日、秋田市のこまちスタジアムで決勝が行われ、秋田中央が明桜に5-4でサヨナラ勝ちし、秋田市立時代の1974年以来、45年ぶり5度目の夏の甲子園出場を決めた。

八回に4点を追い付かれた秋田中央は延長十一回、2死二塁で齋藤光が中越えへ安打を打ち、試合を決めた。

全国選手権の組み合わせ抽選会は8月3日に大阪市内で行われ、大会は6日に兵庫県西宮市の甲子園球場で開幕する。

明桜 00000040004
秋田中央 000000200020001x5